

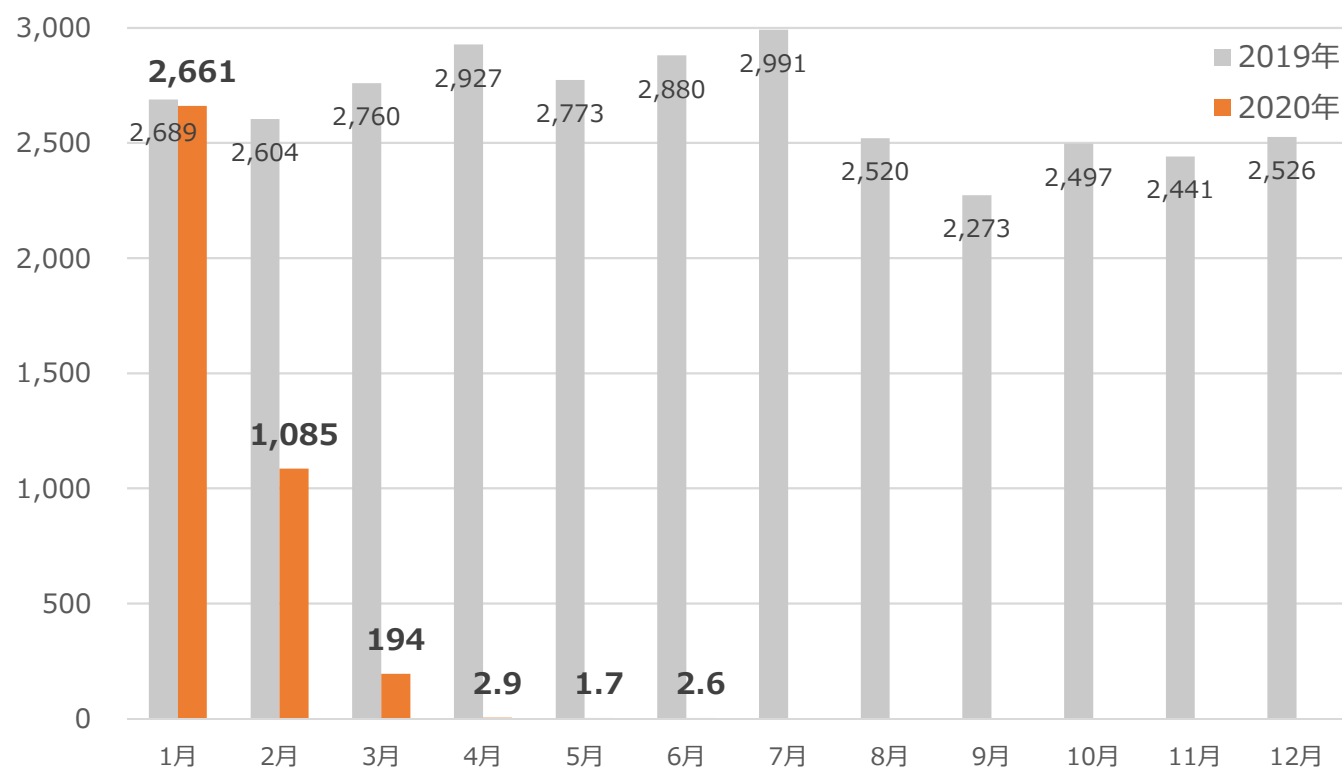


新型コロナウイルス感染拡大による 国立公園等における影響と回復状況

(1) 国内観光全体の状況 ①訪日客の入込状況

- 訪日外客数は2020年1月以降減少し続け、4月から6月にかけて3ヶ月連続で**前年同月比99.9%減**。
- 7月現在、検疫強化、査証の無効化等の新型コロナウイルス感染症の水際対策が継続しており**観光目的**での入国は**難しい状況**。

訪日外客数の月別推移（単位：千人）

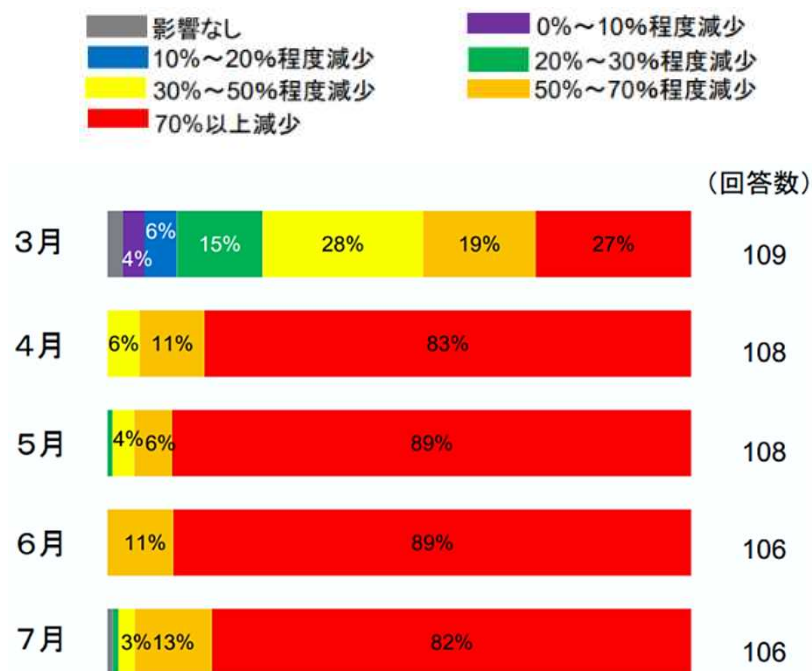


出典：日本政府観光局

（１）国内観光全体の状況 ②旅行・宿泊業の状況

- ・ **宿泊予約**については４月以降は８割以上の施設が７０％以上減少となり、今後も極めて**厳しい状況が続く**見込み。**大手旅行会社**の予約人員については、４月及び５月は海外旅行、国内旅行、訪日旅行の全てが取扱ゼロに近い状況。６月以降も極めて**厳しい状況が続く**見込み。

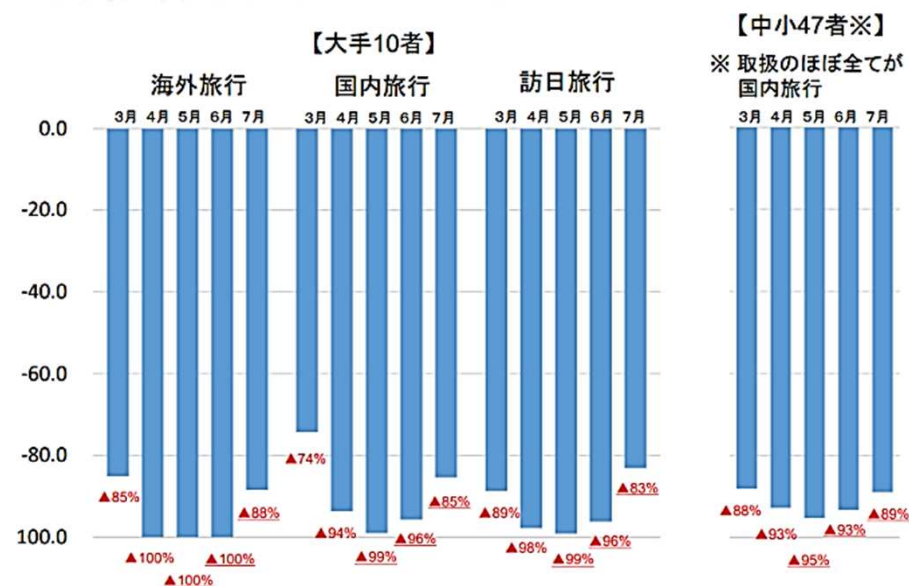
（第37回観光戦略実行推進会議 観光庁資料より）



（調査方法：宿泊事業者に対して、業界団体経由で影響をアンケートし、111施設から回答）

出典：観光戦略実行推進会議 資料

宿泊予約状況（前年同月比 ※ 6・7月は見込）



（調査方法：日本旅行業協会、全国旅行業協会経由で、大手10社、中小47社に影響をヒアリング）

出典：観光戦略実行推進会議 資料

旅行予約人員（前年同月比 ※ 6・7月は見込）

(2) 国立公園への影響 各種施設、登山道、関連事業者の状況

- 国立公園内でも4月より**多くの宿泊施設や観光施設が休業**、解除を受けて徐々に再開。
- 直轄ビジターセンターと野営場も4/16緊急事態宣言を受けて全て閉館・閉鎖**。宣言解除後、感染予防対策を行い地域毎に**徐々に再開**。7月現在、ほぼ全ての施設が再開。
- 民間事業者での廃業が発生したほか、感染拡大防止の対応のため、山小屋において営業休止・延期、観察会や各種イベントの中止など今後の利用への影響も生じている。

2020年(令和2年)5月11日 月曜日

にぎわい創出進む中…4月売り上げ99%減

**十和田湖復興
コロナで暗転**

関係者、早期収束を渴望

十和田市などの観光入込客数 (単位:人)

項目	2019年4月	2020年4月	2019年5月	2020年5月
十和田市	2,133,720	2,133,720	2,133,720	2,133,720
十和田市全域	909,844	1,055,796	1,055,796	1,055,796

※十和田市全域の観光入込客数は、市内観光客と市外観光客の合計。市内観光客は、市内観光客と市外観光客の合計。市外観光客は、市外観光客と市内観光客の合計。



支笏湖ビジターセンター
定期的に館内展示の消毒実施



支笏湖ビジターセンター
玄関に手指用アルコール消毒



- 富士山は今シーズン**閉山**(全山小屋休業、山頂への登山道閉鎖)。
- 北アルプスは7月中旬までの山小屋営業休止。7月中旬以降、**順次再開**(宿泊定員の削減、消毒等の対応実施)。

- 廃業事例：宿泊施設4件(1件 川湯温泉/阿寒摩周、3件 青森市、十和田市、鹿角市/十和田八幡平隣接) タクシー業者1件(伊勢志摩)
- 夏以降のイベント等の中止：カムイミナの今年度中止・別イベントへの企画変更(阿寒湖温泉/阿寒摩周)、桜島納涼観光船(霧島錦江湾)、自然観察会(ウミガメ観察会(吉野熊野)、全ての観察会(大台ヶ原VC))、海水浴場閉鎖、各種夏祭り中止など

(3) 利用の再開に向けた取組 ガイドライン等の作成

- 旅行業など業界別の感染予防ガイドライン以外に、自然体験活動や環境教育事業者、山岳ガイド等に向けたガイドラインが各協会・団体等において作成
- いくつかの地域ではエコツアーや登山・トレッキングにおける**感染予防ガイドライン**が作成され、事業者や一般利用者に提供
- **北アルプス（中部山岳国立公園）**ではガイドラインに従い、7月中旬に山小屋が営業再開。**大雪山国立公園**では、感染症注意マップを作成し利用者に利用上の注意を促す。

ガイドラインの主な内容

- 感染予防の基本原則
 - ・ 宿泊予約の徹底に努め、宿泊定員を算出す
 - ・ 入り口や施設内への消毒設備の設置
 - ・ マスクの着用
 - ・ 施設や営業の定期的な換気
- 感染疑いのある宿泊者がいる場合の対応
 - ・ 他の宿泊客と区分して隔離する部屋などを決めておく
 - ・ 他の宿泊客との接触を避け、対応するスタッフも限定する
- 利用者への協力依頼・理解促進など
 - ・ 感染対策や体調管理に必要な持ち物の携行
 - ・ 無理のない登山計画と宿泊予約

【北アルプス山小屋協会】

山小屋における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

長野県、岐阜県、富山県にある96の山小屋で形成される北アルプス山小屋協会が共通ガイドラインとして作成。小屋の立地条件や施設規模により対策が変わらないよう、全ての施設で運用できる形でまとめられた。

出典：信州山小屋ネット
(<https://www8.shinmai.co.jp/yama/article.php?i=d=YAMA20200616013511>)

【大雪山国立公園連絡協議会】

新型コロナウイルス感染症注意マップ

山小屋やトイレ、休憩所、利用者が集まる場所など感染リスクが比較的高い場所ので注意すべき事を地図と写真で解説。



【鳥取県】

登山における感染予防対策ガイドライン

夏山登山シーズン前に、登山者に感染予防を促すため、県がガイドラインを作成。大山については、登山客のすれ違いを避けるため、上り・下り用のルートを設定し、通行を奨励。

大雪山国立公園で登山をするときの 新型コロナウイルス対策（全地域共通）



(4) 利用の回復状況 ビジターセンター、野営場 等

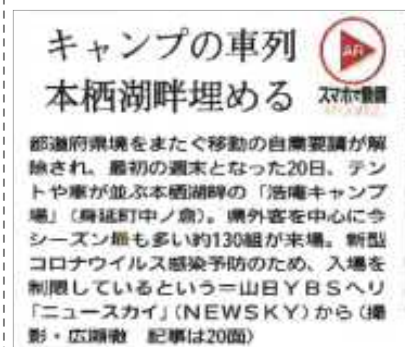
- ビジターセンター利用者は、6月には**概ね3～5割程度まで回復**。県内や近隣県からの利用が多いところなど、7割～ほぼ例年通りの利用になっている箇所も。
- 駐車場（自然公園財団管理運営）データでは、マイクロバス・大型バス等の**団体利用は未だ回復せず**。一方、乗用車は5割まで回復。二輪車は昨年比増加。
※全国キャンプ場の予約サイト「なっぷ」より
- 野営場の人気が高まっており、全国予約サイトの7月8月の予約率は昨年実績の約8割に※
- 八幡平（ドラゴンアイ）や浄土平などSNS・メディア等をきっかけに多くの来訪者が訪れた例も。



環境省直轄ビジターセンターの利用者数の事例



国立公園等（自然公園財団管理駐車場）2車種の入庫状況



- 2～3月の指宿野営場の利用者は昨年比約2倍
- 支笏湖地域では自粛解除後、多くの利用者が来訪し、前年比程度
- 瀬戸内海エリアで週末サイトが埋まり、7～8月予約は5～6割



Twitter (2020.6.7)
「実は福島は海外だった」という浄土平の風景写真がツイッター上で話題となり週末に多くの来訪者が訪れた



(5) 利用の回復・促進に向けた取組 その他、割引・補助等

- 市町村民、道県民を対象とした宿泊施設や飲食の利用への**補助・助成**等を行う利用促進キャンペーンが盛んにおこなわれている。
- 宿泊割引・補助、観光施設割引、商品券などいくつかの種類があり、売り切れや抽選が必要となるなど**好評**を得ている。
- 宿泊施設の予約状況は、例えば南紀白浜や瀬戸内等は7～8月に前年度5～6割に

【北海道】どうみん割

- 道内での宿泊旅行商品などを販売する観光関連事業者に、その代金を割引く制度。
- 宿泊最大10,000円割引や日帰り旅行アウトドア体験最大5,000円割引などを用意。



【栃木県】県民一家族一旅行推進事業

- 県民の県内旅行に対する宿泊料金の割引及び有料道路の無料化を行う。



【秋田県】プレミアム宿泊券・飲食券

- 通常より安価に宿泊・飲食ができるチケットを販売。



【鳥取県】#We Love 鳥取キャンペーン

- 県民の宿泊・観光施設利用費用の2分の1（上限3,000円）を割引。



【鹿児島県】ディスカバー鹿児島

- 1人最大1万円の宿泊助成とグループ1組あたり3千円のタクシー利用助成。



【三重県】体験教育旅行への支援

- 志摩市内で修学旅行の受入れを行っている自然体験事業者では、9月以降の予約が好調。
- 三重県では、体験教育旅行を実施する県内学校の児童・生徒1人あたり1千円～5千円を補助